

平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会 第1回花見川区役所部会議事録

1 日時：平成27年6月8日（月）午後2時30分～午後5時30分

2 場所：花見川区役所 2階 講堂

3 出席者：

(1) 委員

小川 真実委員（部会長）、織戸 正道委員（副部会長）、鶴見 泰委員、
新田 芳男委員、宮葉 富繁委員

(2) 事務局

芦ヶ谷花見川区長、田野地域づくり支援室長、山下主査、
加藤主任主事、古澤主事

4 議題：

- (1) 部会長及び副部会長の選出について
- (2) 指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について
 - ア 千葉市花見川区畑コミュニティセンターについて
 - イ 千葉市花見川区幕張コミュニティセンターについて
- (3) 今後の予定について
- (4) その他

5 議事概要：

- (1) 部会長及び副部会長の選出について
委員の互選により、小川委員を部会長に、織戸委員を副部会長に選出した。
- (2) 指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について
 - ア 千葉市花見川区畑コミュニティセンターについて
まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。
次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、事務局案をおおむね承認するとともに、次期指定管理者の選定に向けた意見を、部会として取りまとめ、決定した。
 - イ 千葉市花見川区幕張コミュニティセンターについて
まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。
次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、事務局案を承認するとともに、次期指定管

理者の選定に向けた意見を、部会として取りまとめ、決定した。

(3) 今後の予定について

議事録の公開について、事務局から説明した。

(4) その他

委員からの質問等を受け付けた。

6 会議経過：

○事務局職員 委員の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまより、平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回花見川区役所部会を開会いたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます。地域振興課地域づくり支援室の山下と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づき、公開されております。ただし、一部非公開の部分がございますので、あらかじめご承知おきください。なお、現在のところ傍聴人の方はいらしておりません。

それでは、委員の皆様をご紹介します。

千葉大学法政経学部准教授の小川真実委員でございます。

○小川委員 千葉大学の小川です。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局職員 よろしくよろしくお願いいたします。次に、公認会計士の織戸正道委員でございます。

○織戸委員 織戸です。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局職員 次に、弁護士の鶴見泰委員でございます。

○鶴見委員 鶴見でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局職員 次に、旧花見川区公民館運営審議委員会委員長の新田芳男委員でございます。

○新田委員 新田でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局職員 最後に、花見川区町内自治会連絡協議会会計の宮葉富繁委員でございます。

○宮葉委員 宮葉です。よろしくお願いいたします。

○事務局職員 よろしくお願いをいたします。

続きまして、職員についてご紹介をいたします。まず花見川区長でございます。

○芦ヶ谷花見川区長 区長の芦ヶ谷です。よろしくお願いいたします。

○事務局職員 続いて、地域振興課職員になります。田野地域づくり支援室長でございます。

○田野地域づくり支援室長 田野でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局職員 加藤主任主事でございます。

○事務局職員 加藤です。よろしくお願いいたします。

○事務局職員 古澤主事でございます。

○事務局職員 古澤です。よろしくお願いいたします。

○事務局職員 以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、花見川区長の芦ヶ谷からご挨拶を申し上げます。

○芦ヶ谷花見川区長 こんにちは。花見川区の芦ヶ谷でございます。

本日は、お忙しい中、平成27年度の千葉市市民局指定管理者選定委員会第1回花見川区役所部会にご出席をいただきありがとうございます。また日ごろより皆様には市政、各般にわたり多大なるご支援、ご協力を賜っておりますことを厚く御礼を申し上げます。

さて、本日の部会は、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例に基づき開催するものでございます。今年度は、第2期指定期間の最終年度となっていることから、平成26年度の評価に加えて、これまでの期間の総合評価を行うこととなっております。具体的には、指定管理者から提出された平成26年度の事業実施報告書や指定管理者総合評価資料などの資料を審査していただき、施設管理運営のサービス水準の向上、財務状況、今後の改善を要する点などについてご意見をいただくとともに、次期指定管理者選定に向けてのご意見を頂戴できればと思います。

本日、ご審議いただくのは、畑コミュニティセンターと幕張コミュニティセンターの2カ所で、小川委員、織戸委員、鶴見委員の3名におかれましては、事前に現地をごらんになっていただきました。特に畑コミュニティセンターにつきましては、京葉道路の北側にあつて、古くからのまちで高齢化も進んでおります。一方の幕張コミュニティセンターについては、国道14号の南側にあつて、美浜区に隣接して比較的若い世代の住民が多く住んでいる地区ということで、対照的な位置関係でございます。

畑コミュニティセンターは、年間6万1,000人の施設来場者、幕張は14万4,000人と、2.4倍の利用者の開きがあつて、料金収入も2.5倍の差がありますが、コミュニティ施設は若い人から高齢者まで低コストで利用し、地域コミュニティや仲間づくりの重要な拠点となつておりまして、一概にコストだけでは評価できない重要な役割もあると思つております。区内には、ほかにも花島コミュニティセンターがありますが、昨日、コミュニティまつりが開かれまして、私も参加したところ、大変な盛況ぶり、畑地区よりもさらに北側で、交通が不便な地区なんです、その地域の楽しみであり、サークル活動の発表の場ということで、潤いのある区民生活には欠くことのできないものとなっているのかなと考えております。

区としても、3つあるコミュニティセンターの特徴を生かして、今後も指定管理者を適正に配置して、管理、運営の向上を目指す必要があると考えております。

委員の皆様には、専門的なお立場や豊富な経験をもとに厳正な評価をお願い申し上げます。今日はよろしくお願いいたします。

○事務局職員 ありがとうございます。

それでは、議事に入ります前に資料の確認をさせていただきます。

まず、本日机上に配付してあります諮問書の写しと、次第、席次表でございます。次に、事前お渡ししたファイルをお開きいただき、資料1が千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回花見川区役所部会進行表、資料2が花見川区役所部会委員名簿、資料3が花見川区役所部会で審議する公の施設一覧、資料4-1から4-4は千葉市花見川区畑コミュニティセンターの平成26年度の4-1が指定管理者評価シート、4-2が事業計画書、

4-3が事業報告書、4-4が計算書類等でございます。資料5-1が指定管理者総合評価資料、5-2が指定管理者総合評価シート（案）でございます。資料6及び資料7は、千葉市花見川区幕張コミュニティセンターで、枝番は先ほどと同様となっております。

続いて、参考資料になります。参考資料1が千葉市花見川区畑コミュニティセンター及び千葉市花見川区幕張コミュニティセンターの平成23年度～25年度の指定管理者評価シート、参考資料2が千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例、参考資料3が千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について（平成22年7月16日千葉市市民局指定管理者選定評価委員会議決事項）、参考資料4が部会の設置について（平成24年7月24日千葉市市民局指定管理者選定評価委員会議決事項）以上をお配りしております。おそろいでしょうか。不足等ございましたらお知らせください。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、会議の成立についてご報告をいたします。本日の出席委員は全委員さんの出席となっておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第7項において準用します第10条第2項に基づき会議は成立しております。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

なお、部会長が決定するまでの間、芦ヶ谷区長が仮議長を務めさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

（異議なし）

○事務局職員　それでは、芦ヶ谷区長、議事進行をお願いいたします。

○芦ヶ谷花見川区長　ご承認いただきましたので、仮議長として進行を務めさせていただきます。

それでは、議題1の「部会長及び副部会長の選出について」に入らせていただきます。

部会長の役割といたしましては、本部会の議長を務めていただくほか、部会の招集、議事録の承認など、部会を代表していただきます。副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、その職務を代理していただきます。

まず、部会長の選出を行いたいと思いますが、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第4項に基づき、互選により選出したいと思います。どなたか立候補、または推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。

○宮葉委員　立候補する方がいなければ、常任委員であられる小川さんが、再任であり、一番経験がある方と存じますので、小川さんをお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○芦ヶ谷花見川区長　ただいま小川委員を部会長にというご推薦をいただきましたけれども、よろしいでしょうか。

（異議なし）

○芦ヶ谷花見川区長　それでは、小川委員に部会長をお願いしたいと思いますので、小川委員、部会長席に移動をお願いいたします。

それでは、小川部会長より一言ご挨拶を頂戴したいと思います。よろしく申し上げます。

○小川部会長　ただいま委員の皆様からのご推挙を賜りまして、本部会の部会長になることになりました千葉大学の小川でございます。こんなにあっさり経験とかそういうこと

を見抜かれるような地域代表の委員の方がいらっしゃる場所なので、この全体のコミュニティの運営に非常に力を入れているんだなということをもっと理解させていただきまし
た。委員として3期目を務めているんですが、いかんせん見落としがちな部分もあります
し、うっかり誤解しているところもあるかと思っておりますので、皆様方のお力を賜りながら、
本部会の抱えているコミュニティセンターの活性化に向けて大いに尽力していきたいと思
います。どうぞよろしく申し上げます。

○芦ヶ谷花見川区長 ありがとうございます。

それでは、部会長が選出されましたので、ここで議長を小川委員に交代したいと思いま
す。よろしく申し上げます。

○小川部会長 ありがとうございます。

それでは、次第に従いまして議事を進行してまいります。ご協力のほどよろしくお願
いいたします。

副部会長の選出を行いたいと思います。こちら互選により選出されることとなってお
りますが、どなたか立候補または推薦される方はいらっしゃいますか。

じゃあ私のほうから申し上げます。常任委員を3期務めている経験からで申しますと、
大抵常任委員の方に部会長、副部会長をお引き受けいただくことになっておりますので、
ここは織戸委員にお願いしたいと思います。

○織戸委員 はい。わかりました。

○小川部会長 よろしくお願いをします。

ただいま、副部会長に織戸委員を推薦させていただいたんですが、いかがでしょうか。

(異議なし)

○小川部会長 ほかにご意見がないようですので、織戸委員に副部会長を決定させてい
ただきたいと思います。

それでは、一言ご挨拶頂戴したいんですが、お願いできますでしょうか。

○織戸委員 それでは、副部会長としまして、精いっぱい、特に会計面につきましての
コメント、意見を述べさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願
いいたします。

○小川部会長 ありがとうございます。

続きまして、議題2の「指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価に
ついて」に入らせていただきます。

まず、年度評価及び総合評価の概要について、事務局より説明をお願いいたします。

○田野地域づくり支援室長 それでは、指定管理者選定評価委員会による指定管理者の
行った施設の管理に係る年度評価の概要についてご説明いたします。

まず、評価の目的でございますが、指定期間中の各年度終了後に履行状況の確認を行い、
また選定評価委員会へご報告することによって、委員の皆様からのご意見をいただく機
会を設け、次年度以降の管理運営をより適正に行うため実施するものでございます。

次に、評価の方法でございますが、まず、市が現地視察、ヒアリング等を通じて行った
モニタリングの結果、指定管理者による自己評価、指定管理者からの報告書等を踏まえ、
指定管理者評価シート、いわゆる年度評価シートを作成いたします。

ここで資料の4-1をごらんいただきたいと思います。評価シートの内容についてご説

明いたします。評価シートは、大きく6つの項目で構成されております。まず1番目に「基本情報」、2番目に主な実施事業や利用状況、収支状況などの「管理運営の実績」、3番目に指定管理者が行ったアンケート調査の結果など「利用者ニーズ・満足度等の把握」、そして4番目に「指定管理者による自己評価」、5番目に市が履行状況を確認し、評価を行う「市による評価」、最後に6番目として委員会から答申していただいた意見を掲載いたします「市民局指定管理者選定評価委員会の意見」となっております。

さらに、委員の皆様からのご意見をいただくに当たってポイントとなります「5 市による評価」について詳しくご説明いたします。

まず、「履行状況の確認」についてですが、こちらには「募集要項」、「管理運営の基準」、「基本協定書」、「提案書（事業計画書）」で定められている仕様のうち、市による定期的な確認が必要な項目を記載しています。市によるモニタリング等により、これらの項目の履行状況を確認し、その結果を「仕様、提案を上回る実績・成果があった場合」は3を、「仕様、提案どおりの実績・成果があった場合」は2を、「仕様、提案どおりの管理運営が行われなかった場合」は1を記載し、3段階で評価しております。その結果を踏まえ、市による評価では、「仕様、事業計画を超える実績・成果が認められるなど、管理運営が特に良好に行われていた場合」はSを、「概ね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われた場合」はAを、「仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められず、管理運営に関して改善を要する事項があった場合」はBとし、3段階で評価をしております。

以上により、市で作成した「指定管理者評価シート」と指定管理者から提出された「事業報告書」、「計算書類等」などの資料をもとに、選定評価委員会より当該指定管理者による「施設管理運営のサービス水準向上・業務効率化の方策」、「改善を要する点」や指定管理者の倒産、撤退等、リスクを把握するため、当該指定管理者の「財務状況」などに対するご意見をいただくものでございます。

最終的にそのご意見等の中から、部会としての意見を取りまとめていただき、それを部会長より、選定評価委員会会長にご報告いただいた後、委員会会長より市に対し答申をしていただきます。なお、答申いただいた意見は、先ほどご説明しましたとおり、評価シートの「6 市民局指定管理者選定評価委員会の意見」欄に記載いたします。

また、評価結果の取り扱いでございますが、選定評価委員会のご意見を記載した年度評価シートについて、市ホームページ上で公開するとともに、指定管理者による管理運営の改善、効率化に向けた取り組みを促進するため、評価結果を当該指定管理者に通知いたします。

次に、指定管理者の行った施設の管理に係る総合評価の概要についてご説明いたします。

まず、総合評価とは、各年において実施いたしました年度評価を踏まえ、指定期間の最終年度において、指定管理者選定評価委員会にて行うものであり、現指定管理者の管理業務の総括のため評価を行うものでございます。

次に、評価の進め方でございますが、まず、過年度の評価結果等を踏まえ作成しました「指定管理者総合評価シート（案）」について施設所管課よりご説明させていただき、委員の皆様には、この総合評価について「評価の妥当性」をご審議いただくとともに、サービス水準の向上、あるいは業務の効率化などの観点から、「次期指定管理者の選定に向け

てのご意見」をいただきたいと考えております。

説明は以上でございます。

○小川部会長 ただいまの事務局からの説明について、何かご質問はございますか。よろしいですか。

(なし)

○小川部会長 それでは、各施設の評価に移りたいと思います。

まず、千葉市花見川区畑コミュニティセンターの年度評価を行います。ご説明をお願いいたします。

○事務局職員 畑コミュニティセンターについてご説明いたします。

資料4-1、平成26年度指定管理者評価シートをごらんください。

まず1ページ目の「1 基本情報」ですが、指定管理者は、アクティオ株式会社、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間でございます。

次に「2 管理運営の実績」ですが、まず「(1) 主な実施事業」の①指定管理事業につきましては、ごらんのとおりでございます。

②自主事業につきましては、名画鑑賞会を毎月開催しているほか、ロビーコンサートとして季節ごとにコンサートを行っており、多くの方にお越しいただいております。そのほかにも多数の自主事業を実施しており、合計で37種類、延べ70回の自主事業を行っております。

次に2ページをごらんください。「(2) 利用状況」につきましては、平成26年度の利用者数は4万1,701人で前年度比で99.0%となっております。稼働率につきましては20.8%で、昨年度と同様の数値となっております。利用者数、稼働率ともに目標値には届きませんでした。

次に「(3) 収支状況」につきましては、①収入実績のうち、利用料金が計画額に対して89.2%と計画額に届かなかったことや、②支出実績のうち、人件費が職員の入退職により、計画比100.7%と増加したことなどから、収支実績はマイナス25万3,000円となっております。

次に「(4) 指定管理者が行った処分の件数」、これは施設の貸し出しにおける許可ですが、ごらんのとおりでございます。

「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」はございませんでした。

次に3ページをごらんください。「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてでございます。

まず「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果について」でございます。アンケート調査は、諸室利用者を中心に2回実施しております。調査の結果といたしましてはごらんのとおりです。括弧内の数字が1回目の調査結果となっております。

調査の結果といたしまして、受付等の対応について「大変満足」「満足」が1回目は76.1%、2回目は81%、清掃等について「大変満足」「満足」が1回目は72.6%、2回目は79.9%と高い評価をいただいております。特に清掃等の項目につきましては、建物が古いにもかかわらず高い評価をいただいております。

次に③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応ですが、アの「駐車場(多目的広場)の整備」につきましては、昨年12月に舗装修繕工事を実施しました。ウ

の「自主事業における新しい講座の実施」についても、利用者の意向を踏まえて新たな自主事業を企画し対応しております。

次に「(2) 市に寄せられた意見、苦情」ですが、15件寄せられております。詳細はごらんとおりですが、卓球台、館内アナウンスの修繕については、ご意見を踏まえて修繕しております。

次に4ページをごらんください。「4 指定管理者による自己評価」につきましてはごらんとおりです。項目のみご紹介いたしますと、「1 自主事業の充実」、「2 新たなセルフモニタリングシステムの導入」、「3 地域との連携強化」、「4 図書関連の充実」です。これらについて自己評価しているところでございます。

次に5ページをごらんください。「5 市による評価」ですが、評価はAといたしました。理由としましては、所見の②に記載したとおり、稼働率は前年度と同じ20.8%であり、目標値には届かず、利用料金収入も計画額に届きませんでした。が、畑地区の高齢化などの影響が大きいと思われること。また④に記載したとおり、自主事業は計画どおり実施されていて、参加率が100%を超えるような自主事業が多数あり、利用者の意向を捉えた企画を実施していること。その他の管理運営については、事業計画どおりに行われていることです。

また、履行状況の確認につきましては、ごらんとおりでございます。

評価を3とした項目は、6ページ目の真ん中やや下の「美観の保持」という項目です。季節感のある館内装飾に加えて、清掃についてアンケートでも高評価をいただいているところなどを評価しております。

そのほかの項目につきましては、おおむね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われておりましたため2点としております。

畑コミュニティセンターの説明につきましては以上でございます。

○小川部会長 ありがとうございます。

ただいま施設所管課から説明がありましたが、年度評価では指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握することとなっております。これから計算書類等をもとに、指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うこととなりますが、一部の資料は一般には公開されていない法人等情報を含んでおり、千葉県情報公開条例第7条第3項に該当する不開示情報となりますので、同条例第25号ただし書きの規定により、ここからの会議は非公開といたします。なお、その後に行います指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点などに関する意見交換については再び公開といたします。

現在、傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま続けます。

それでは、公認会計士である織戸委員から、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等をもとにご意見をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉県情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○小川部会長 では、意見をまとめましょうか。

私も一応本職会計学なので、織戸委員のおっしゃっている見解に特に異論もないんですが、収益性の観点から見ても、安全性の観点から見ても、直ちに倒産、撤退等のリスクは

ないというふうに判断しております。それに足る十分な証拠だと思います。

これを本部会の意見にしても大丈夫ですか。

○事務局職員　　メモを取りましたので、ご確認ください。

○小川部会長　　今ご意見を頂戴したんですけど、詳細は、部会長、副部会長、事務局で話をまとめていいですか。今、専門家のおっしゃるような話のとおり、財務について、収益性の観点においても十分に増収、増益を上げていると。あとは安全性の面、貸借対照表ベースに考えた安全性の面においても、十分利益を積み上げていると。こういうことを踏まえて、直ちに倒産、撤退等のリスクはないという趣旨でまとめる形にはしたいと思いません。これを本部会の意見としてよろしいですか。

(異議なし)

○小川部会長　　ありがとうございました。

それでは、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点などについて、意見交換については公開といたします。

現在、傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま続けます。

それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点などについて、指定管理者評価シートをもとに委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

○鶴見委員　　利用状況でございますが、平成26年度の目標値は4万6,630人であったところ、達成率が89%であったと。稼働率についても目標値を達し得なかったわけですが、この目標値設定に問題があったのか、それとも目標に至る努力等に問題があったのか、その辺についてはいかがお考えでしょうか。

○田野地域づくり支援室長　　目標は、当初提案するときからあるのですが、今回の場合、畑地域というのが非常に特殊なところでして、周りの環境もおわかりになっていると思いますが、人口の少ないところでありまして、それで、花見川区も高齢化が進んでいまして、中にはサークル活動をやめてしまうところもあって、伸び悩んでいます。目標は立てているんですけど、実際やってみると地域柄もありまして、なかなか思うように伸びないという状況です。

○小川部会長　　ほかにいかがでしょうか。

ちょっと1点事務局に確認したいんですけど、コミュニティセンターに関する管理運営の基準というのが指定管理者の募集要項の中にありますよね。そして、それはほぼ千葉市共通だと思います。これに基づいて選定をして、それで評価を毎年契約期間にわたってやっていくんですけど、この間、いろんなことがありましたよね。特に最近、地域のコミュニティで問題になっている話なんかでいうと、消滅都市の話ですよ。だから、この基準をつくっていたときには、恐らく、そういうことに真剣に向いてなかったと思うんですね。国立社会保障・人口問題研究所とかの人口推移とか見ていると、非常に甘いデータが出てくるから、ようやく増田レポートになって、実態が衝撃的なことが言われていますよね。最近なんかでいうと、高齢者は何か地方に行くと、そういうような話もありますよね。

そうやって見てみると、千葉市の花見川区でも消滅可能性都市に当てはまっていますよね。もうちょっと細かく見ると、地域によってそれが早まる場所もあるんですね。それに対して、幕張のほうは、まだ人口がふえているようなお話ですよ。となると、二つ

の今ご説明があったとおり、対照的な地域を扱っているわけですよ。片や成長モデルが考えられる。片や縮小していく方向を考えていかないと。そういったときに、まちづくりというのはどういう方向を目指そうとするんですかね。僕はずっとこの委員をやっていて、市民総務課にずっと尋ねているんですよ。千葉市のまちづくりの方針ってどこにあるんだと。それにあわせて選定評価基準というのを考えていきたいなど。何か縮小していく中で成長しろ、成長しろというのは土台無理な話じゃないですか。それにかわる新たな評価尺度というものが求められるべきだと。

だから、純粹に公の施設として、そこに縮小していく人たちのコミュニティが壊れないような公の取り組み、例えば防犯だとか、人も老いればまちも老いるわけですから、空き家問題とかに啓蒙強化していただく。最近だと若い子たちだと暴走自転車の問題です。そういったところって採算性は出ませんけれども、力を入れていかなきゃいけないわけじゃないですか。いくら行政が市報とか広報紙で言ったとしても聞いてくれるわけじゃないでしょう。だからもうちょっと聞いてくれる現場に近い組織というのがあるといいなと思うんですよ。こちらの区役所に来る方々は、基本的に困った方が来るわけじゃないですか。中間層の方をいかに困った層に落とさないかというのが一つ目標だと思うんですよ。

だから、そういった機能を区役所だけでできないのであれば、コミュニティセンターとかそういうところが連携してやるべきだと思うんですよ。行政から言われてやるのは嫌だと言いながらも、友達がいるから、また行政と言いながらも、より親しみを感じるような距離のある人たちがいるからだということであれば、また対応が変わってくると思うんです。

そうすると、ここの自主事業にあんまりないんですけれども、そういう啓蒙強化的なものがあってもよさそうな気がするんですよ、人口減少社会のもとでは。成長していくところでは、いろんな人たちが入れかわりしているわけだから、コミュニティを調整していくような自主事業が求められると思うんですよ。とにかく顔見知りになろうというところから始まる。とすると、まちの実情に合った評価の仕方が組んでいるのかというのがちょっと気になっているんですよ。

○芦ヶ谷花見川区長　私は、これまで都市マスとか都市計画をやっていました。花見川区の半分が市街化調整区域ということで、大きなくくりではまちづくりとしてはコンパクトシティという考えを市も取り入れようとしているんですけども、やっぱり先祖代々住んでいる地区が花見川区は多いものですから、便利なところに移住というのは難しく、持続的にそこへ住むということになるかと思うんですよ。そこに地域包括ケアだとか、地域のみんなで助け合っていこうというようなこともあって、方向的には大きくは便利なところに移住しても良いし、そこに住み続けることもしなきゃいけないと。

その中で、やっぱり交通の面とか買い物面の面とか子育て面とかがどんどん低下していくと、評価がどんどん下がっていったら、何もしないとそれこそ消滅都市になってしまいますので、そこはコミュニティセンターというのがやっぱり地域を支える拠点にもなっているので、大きな中ではコンパクトですけども、やっぱり10年、20年はそこで元気で住み続けていただくためには拠点が必要だということで、幕張と畑は本当に全く違う特徴なんですけども、畑についてはビジネスライクよりも、もうちょっと行政サービス、今後のまちづくりのありようとか、不安なく高齢者が終活を行う、またそこをサポートする。

交通のバス等を回せと言っても現実にもう需要がないものですから、そこはボランティア

ア的にやるとか、そういった総合的に持続可能にしていくという取り組みの中と、おっしゃるような評価軸が前と今と違っていますので、同じような、それこそ美浜区のコミュニティセンターの尺度と花見川区の北側のほうと全然違いますので、それを同じ軸で考えるというのはだんだん乱暴になってきているということでは、その見直しは必要かなと考えております。

○小川部会長　同じような問題意識を持っている方がいらっしゃって助かるんですが、やっぱりそこが気になるんですね、ずっとやっています。ありがとうございます。まず、そこをちょっと確認したかったので。指定管理者評価シートに基づいて議論を進めてまいりたいと思います。

株式会社アクティオさんに対してと、指定管理者が行ったアンケートの結果を見てみますと、3ページ目なんですけど、やっぱり特定の層に偏っていますよね。女性で主婦の方、もしくは無職の方が中心になって、50代以上の方で7割近くを占めると。となると、やっぱり新規っていうのは難しいんですかね。

○事務局職員　そうですね。やっぱり女性の方が多いと聞いております。男性のほうかなかなか外に出づら性格の方が多いと思うんですが、今後は、例えば男性に参加してもらえそうな自主事業をやったり、サークル活動、サークル結成の支援を行って、男性の方に出てきてもらって、コミュニティセンターを活用してもらえればいいかなというふうには考えております。

○小川部会長　何かまちづくりボランティアとかこの辺はできないんですか。地元に着のあるような人たちが、まちの至るところに行政が行き届かないところで、例えば清掃ボランティアというような活動をするようなことはないんですか。

○田野地域づくり支援室長　例えば、それとはちょっと違うかもしれませんが、畑地域というのは非常に防災について関心が高くて、避難所運営委員会という千葉市で今進めているものなんですけども、それが一番最初にできたところです。自主事業を見ても、非常に家庭的なものとか、地域で行うような、ほかのコミュニティセンターではないような自主事業が目立ちます。例えばみそ作りとか、太巻きずしとか、特に地域性があるところでまとまりやすいところです。

○小川部会長　何か世代層に応じて細かくやっというふうな自主事業の見方になるんですけれども、多世代間交流になっているんですかね。せいぜい、言うなら29番目の日帰りハイキングというのはなかなか見ないようなんですけど。

○田野地域づくり支援室長　そうですね。外に出る事業というような形で、いろいろハイキングやったり、あるいは花見川区の中の歴史の散歩をしたり、そういった外に出る事業が畑コミュニティセンターは目立つ取り組みをしていると思います。

○事務局職員　世代間交流で、6ページ目の真ん中ぐらいに、自主事業の効果的な実施という項目の中の世代間交流を考慮してというのをいくつか挙げているんですけれども、こちらに記載したとおり、竹づくりとか、竹トンボ教室、こういったことは、地域の方がお子さんに昔の遊びなどを教えるというふうな自主事業になっていまして、そういったところで世代間交流を図ろうというふうな取り組みをやっているのかなと思っています。

○小川部会長　でも成果がないですね。あそこの立地条件を見たら、幕張もそうなんですけど、近隣に小学校、中学校がありますよね。学識関係でいうならば、学校教育の現

場ってキャリア教育やっているんですよ。そういった受け皿になって、もうちょっとまちのことについて、そして将来のことについて受け入れてくれるような、もうちょっと厚めの取り組みとかというのは余地がないのかなというふうに思うんですよ。何かそれがちょっと民間の創意工夫としては発揮しづらいのかなって。なかなか難しいんですけどもね。

あと、ちょっと話が変わるのですが、畑コミュニティセンターにしても幕張コミュニティセンターにしても図書室はありますよね。

○事務局職員 はい。

○小川部会長 だから図書室を持っているところは、コミュニティセンターの管理運営の基準のところを見ていく中で、雑誌及び書籍を購入して利用者ニーズに応じた運営に努めることというふうにあるんですが、具体的な金額までは出てないんですよ。4ページですか、コミュニティセンターの管理運営の基準というところの4ページ。具体的な金額というのが、私これちょっと理解をちょっと誤っていた部分があって、これ努力目標と純粋に理解するんじゃないくて、ある程度数字目標があるんですかね。

○田野地域づくり支援室長 両館とも月10万ぐらいの費用で図書の購入等をしております。

○小川部会長 何か図書室があるのはほぼそういうふうに指導されているんですよ、基準の中で。最終的にそれは委託期間が終わったら千葉市に移管されるもの。

○事務局職員 はい、そうです。

○小川部会長 だからこれは特段の取り組みじゃないですよ。収支予算表の中に事務費の中に必ず出てくるんですけど、その金額が結構突出して大きくなるんですが、そこは別に指定管理者の努力というよりも、契約上。

○事務局職員 そうですね。予算の中でそれだけ入れなさいという。

○小川部会長 という理解でいいんですね。その辺の説明をしておかないと、誤った理解を形成しかねないことになるので、そこを確認させてもらいました。

あと、お金の話で恐縮なんですが、評価シートに「市内産業の振興」とありますよね。市内事業者への委託が2点だというふうにあるんですけど。

○織戸委員 何ページ目ですか。

○小川部会長 評価シート5ページ目です。

その中に、「(1)市民の平等な利用の確保」の中にある、関係法令等の遵守、モニタリングの考え方、その後に出てくる市内産業の振興というのがあるんですね。そこに市内事業者への委託とあるんですが、年度当初に事業実施計画書を立てますよね。その中の47ページを見てみると、施設管理、清掃、設備機器管理、そこがパシフィックエンジニアリングという会社で東京都文京区本郷というのですね。あと機械警備はセコムさんで、昇降機保守点検がSECエレベーター、このパシフィックエンジニアリングで大体1,500万ぐらい委託していますよね。

今の実施計画書のほうの中の外部委託をそもそも東京都文京区の業者に委託していて、それが1,500万ぐらいの規模だと。それで、実施報告書の様式7号の1の経費内訳を見てみると、一番最後に一般管理費というので、弊社規定による本社事務経費等というのが来るんですね。その前に、設備機器管理費とか、清掃費とか、そういうのが積まれてい

て、恐らくパシフィックさんだと思うんですよ。

私が言いたいのは、市内産業の振興という項目というならば、指定管理委託料が4,600万、そのうちの1,500万が東京都文京区本郷の会社、あと本社費600万円なので、合計2,000万円です。この指定管理者制度の選定等評価については、計画書と実施報告書を突き合わせてやるという形ですよ。計画書の項目についてやった、やらない、そして特にすぐれているというような、S、A、B評価ですかね。そもそも計画書がこういう形で、市内産業の振興について、正直、僕は甘いと思うんですね。それでも2点ついちやうんです。

○事務局職員 提案書の中で、再委託するところを提案させているんですが、最初からこのパシフィックエンジニアリングに再委託しますということで提案をいただいている、それを提案した業者を選定していますので。市内産業の振興になってないというのはおっしゃるとおりとは思いますが。

○小川部会長 だから提案書の水準が低い場合はどうするのということなんです。

○事務局職員 選定の段階でここをチェックする、意識をする必要があったと思います。

○小川部会長 あまり意識してなかったんでしょうね。そのときはタッチしていませんのでよくはわかりませんが。市内に清掃業者とかビルメンテナンスの会社がごろごろあったと思うんですけど。

○田野地域づくり支援室長 確かに提案の段階でパシフィックエンジニアリングが載ってまして、それはコストの面とかを考えて当初から選んでいたものと思います。それ以外のところの消耗品や修繕で、市内の業者になっております。

○小川部会長 金額的に言ったら突出していますよね。だから当初の提案書どおり事業計画立ててやりましたといっても、計画書自体の水準が低ければ、市による評価を下げてもいいような気がするんですけどね。まあそちらにもルールがあるんですけどね。

○宮葉委員 細かい話ですけど、指定管理者評価シート、自主事業の3番目で子育てサロンを通年やりましたということが載っているんですけど、様式7号の3、26年度自主事業一覧表で、子育てサロンは収入・支出ともにゼロで、毎回ゼロなんですね。何でこの自主事業は実施したことになるんでしょうか。

○事務局職員 そうですね。やってはいるんですが、参加者からお金を取っていないですし、経費もかからないので、収支決算としてはゼロ円となります。実施はしております。

○宮葉委員 そういう意味なんですね。実施はしているということですね。

○田野地域づくり支援室長 資料4-3の21ページに自主事業報告がございまして、参加者数、収入、支出などがあります。これで見ると子育てサロンの参加者が出ていますので、実際に実施しております。

○宮葉委員 やっているということですね。

○事務局職員 そうです。

○小川部会長 金をこれにかける必要もないと思うんですけど、育児で孤立する女性が出てこないほうが私は大事だと思うんで、むしろ金がかからないほうが望ましいのかなとは思っています。

ただ、ここの自主事業ってテーマ性がよく見えないですけど、それについて何か聞いていますか、こういうテーマでこういうことをやろうとしているんだという何か。

○事務局職員 外に出る事業というのは力を入れていて、資料4-1の1ページ目で言いますと、14番目の夏休み子ども1日教室ですとか、25番目の下町散歩、それから27番目の花見川区の歴史散歩、29番目の日帰りハイキング、こういった外に出るような自主事業を企画して、そこに集まった方同士での交流とか、子ども1日教室でいうと子どもが集まるんですけども、それらで地域交流というものを狙った自主事業を計画しているというふうに聞いております。

○小川部会長 中高年向けの講座でそういう方向のものはあります。何か利用者のほうからこういうことやってみたいというようなことがあって市でやったというような話はないんですか。

○事務局職員 中高年のメーク講座、資料4-1でいうと5個目ですね。これはアンケートで希望があって、それを企画してやったのが中高年のメーク講座というふうに聞いております。

○小川部会長 何か新しい取り組みをして、それでサークル化につながるものが一応コミュニティの醸成感も高めていくというのが趣旨ですよ。そこにまで結びつきそうなんですかね。

○事務局職員 自主事業をやってサークル化に至ったという報告はあまり聞いておりません。

○小川部会長 お子さんの利用も力を入れてはいますが、いろんな夏休み折り紙教室とか竹トンボ教室とかやって、それでお子さんの利用がふえたというのはあるんですかね。どういう形で受け皿を用意するかということもあるかと思うんですけど。こういうイベントをやってみましたというだけでとどまらず、その後どういうふうな形でコミュニティセンターの認知度とか、利用状況が改善したかというような話にまで至っていますか。我々が民間活力に期待するのってそういうところですよ。何かそういうふうな形の評価シートのつくり方だったらいいんですけど、何月何日にこういうことやったああいうことやったというアライバばかりなんですよ、指定管理者による自己評価というのは。

○芦ヶ谷花見川区長 資料を見ると、どこでもそうなんですけども、音楽利用が多いんですよ。先ほどの部会長のお話なんですけども、近くに学校があって、学校でもダンスの授業が入っていて、子どものヒップホップみたいなものや、中高年のフラダンスとか、社交ダンスとか、いろんなダンスをやっています。幕張コミュニティセンターでは、鏡はニーズがあって、それを30万ぐらいで備品として買ったなら、非常に好評だったというのがあったので。

ですから、畑はエンドユーザーのニーズはどこかというのがありますけど、音楽のニーズが高いとしたら、経費がかかるけども、音楽活動を後押しするとか、もし子どもとお年寄りの交流の場が欲しいというのであれば、そういう企画も出して、それがどのように利用率の向上につながっているかということまで評価するというのは大事なかなと思います。

○小川部会長 ある区だと、自主事業だけで350万ぐらい出しているようなところがあるんですよ。ちゃんと利用者のニーズを酌み取って、それが好評で、いろんな時間帯に講座つくったりとかして、右肩上りなんですよ、指数的な上がり方しているんです。最初、数十万程度だったのが、4年で300万となっているぐらい。高齢者の方だったら健康とか交流とかということをちゃんとニーズを抑えて。何かこの業者、9年ぐらいやっ

ているんですけど、自主事業の件数はふえているけど、社会教育事業とか社会福祉事業をやっているのだったら金額はしょうがないかなとは思いますが、一応営利を狙っている部分があるから、その割にはあんまりパフォーマンスが出てないなというような見え方がするんですよね。

だから本当にその地域のニーズというものを的確に把握しようとしているのか、そこに疑問が残りますね。地域に向いているのか、本社に向いているのかがはっきり出ているような感じがするんですよね。あとは行政との交流、やっぱりほかの区の話で恐縮なんですけど、人材バンクをお持ちですよね。その人材バンクで集まった英知を活躍の場としてコミュニティセンターとかに派遣するような事業をやっているところもあるので、何かそれはもう行政と密に意見交換というか、行政のほうから提案があったというふうに聞かれますけれども、そういう意味でいうと、行政の持っている引き出しの活用の仕方もちょっとうまくないんじゃないかなというふうに思うんですよね。いろいろといい資源があるんですけどね、小学校、中学校とかで英語とダンスには現場の先生たちお苦しみのようなので、そういう問題を低料金で解決できるんだとしたら。

いかがでしょう。

○織戸委員 よろしいですか。制約のある条件の中ではそこそこ指定管理者としてやっていらっしゃると私は思います。ただ、一つだけちょっとつまらない質問をというか、感想なんですけど、資料4-1の2ページ目の利用状況、②稼働率20.8%なんですよね。一方、資料6-1、この2ページを見ると、利用状況は43.3%ですね。今日ちょうど見させていただいた感じでは、1対2というよりも、にぎわいが随分違っていたんですね。まずそれが感想です。一つ確認したいのは、同じ分母と分子で稼働率というのは出しているんですか。何か20%、43%という関係ではないのではという感じがしたんですが。

○事務局職員 稼働率はコマ数から算出しています。1日6コマのうち使用された割合という算出方法は同じです。

○織戸委員 では、同じ基準で計算していると理解してよろしいんですね。

○事務局職員 はい。

○織戸委員 わかりました。

○小川部会長 いかがでしょう。そろそろ意見をまとめましょうか。いろいろと意見がでてきたので。

やっぱり今、織戸委員や鶴見委員が指摘するとおり、やっぱり利用状況の改善が、また地域特性を鑑みた自主事業の強化とか、あとは広域連携ですよね。そういったところに力を入れてほしいなというふうに思います。さすがに9年やってもっとほかに手打てないのかというふうには思いますけども。

○芦ヶ谷花見川区長 高齢化だとか、そういったマイナスのことを理由に、それは当然サークルが減る要因にはなっているので、それでもって下がることをよしというか、理由になっちゃっているところがあるかもしれませんので、逆にそれが高齢化の「元気」のくぐりの健康だとか、孫と一緒に遊ぶだとか、何かそれを逆手にとって作戦を練る。それと市と区と自治会と指定管理者、それと皆さんの声をミックスして、一番いいターゲットを狙ってもっと知恵出していかなければ、普通にやっていると立ち行かないと思います。

○小川部会長 最初に650万を本社に入れているからね、さっきの売上高が70億で、

税引き前利益3億でしょう。それよりも本社に持っていく率のほうが4,600万のうちの600万だから率がいいと思うんですよ。いい商売ですよ。

あと毎年毎年こって赤字出しているんですよね、決算収支実績。やっぱりこの赤字の改善は入れてください。自主事業で我々赤字を負担しろということは要求はしていませんので、そもそも存続することを求めていますので、収支実績はプラスになるよう。

○芦ヶ谷花見川区長　そこがプラスにならないと。もう1つの幕張コミュニティセンターはプラスなので、利益の還元があって、備品を買ったりしている。そうするとますます差別化になってしまって、貧乏のところは陳腐な施設、片方はきれいになるという。トイレなどがフレッシュにならないとリピーターが来なくなってしまいます。

○小川部会長　本社費を減らせばこんな赤字なんかすぐ消えますよね。本社の指導力がないんですから。

意見が出てきたんですけど、4点ちょっと読み上げます。

自主事業のテーマ性が見えない。利用者のニーズを把握し、サークル化につながるような取り組みを期待したい。「地域性を考慮した」ですね。

○事務局職員　そうですね。

○小川部会長　あと2番目なんですけど、行政を活用し切れてないというふうな意見なんですけど、正確には行政を含めた広域連携に力を入れてほしいと。あと稼働率が非常に低いので改善していただきたい。あと収支状況の改善を期待したい。この以上4点でよろしいでしょうか。

繰り返します。自主事業のテーマ性が見えない。地域性を鑑みた利用者のニーズを把握し、サークル化につながるような取り組みを期待したい。あと行政を中心とするその他公の公共施設とも広域連携に力を入れてほしい。あと稼働率が低いので改善をお願いしたい。あと収支状況の改善を期待したいというような点です。あとは部会長と事務局等で細かいところは整えていききたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○小川部会長　ありがとうございます。

それでは、先ほどの公認会計士である織戸委員からご意見を賜った財務状況も含めて、千葉市花見川区畑コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細については、先ほど申し上げたとおり、私と事務局等々にて調整するということでご承認いただければと思います。

よろしいでしょうか。

(異議なし)

○小川部会長　ありがとうございました。

では次に、総合評価についてご審議いただきます。所管課から説明をお願いいたします。

○事務局職員　それでは、畑コミュニティセンターの総合評価についてご説明いたします。

資料5-1、指定管理者総合評価資料をごらんください。

「1 基本情報」と「2 管理運営状況」の「(1)業務の概要」についてはごらんとおりとなっております。

次に「(2) 利用状況」ですが、指定期間当初からの推移について表にまとめております。まず、①利用者数についてですが、諸室については平成24年度に少し増加したものの、平成25年度以降は徐々に減少しております。これについては、サークル活動をされていた方が高齢となり、活動を休止されるといったことも多いというふうに聞いております。

一方で、スポーツ施設、これは体育館ですが、徐々に増加しております。利用者数の合計で見ますと、ここ3年間は減少しており、平成25年度、26年度においては計画数を下回っております。

また、②稼働率については、平成24年度には22.7%に増加したものの、その他の年度では21%程度となっております。やはり畑地区の高齢化というものの一つの要因であると考えております。なお、平成22年度から大きく稼働率が減少しているのは、諸室の利用時間が1コマ4時間から1コマ2時間に変更されたことが要因であると考えられます。

次に2ページです。「3 利用者意見への対応状況」ですが、施設が古いこともあり、冷暖房に関するご意見をいただいておりますが、スポットクーラーや大型扇風機を用意したり、早目に暖房を入れて調整するなど、適切に対応しております。

3ページをごらんください。まず「4 収支状況」の「(1) 過年度の収入・支出状況」ですが、最後の行の収支のとおり、全ての年度において赤字となっております。各年度において利用料金収入が計画額を下回っていることが要因であると考えられます。

次に「(2) 管理経費の縮減に係る取組み」についてですが、スポットクーラー、扇風機等による冷房の節減、簡易な剪定等を指定管理者みずからが行うことによる外注費の削減などを行い、支出の削減に努めておりました。

次に、資料5-2、指定管理者総合評価シートをごらんください。

「1 基本情報」については、ごらんのとおりとなっております。

次に「2 総合評価」の「(1) 過年度の管理運営業務に対する評価」ですが、評価をSとしたものについて説明いたします。2ページ目をごらんください。評価項目「3 施設の効用の発揮、施設管理能力」の中の「(4) 自主事業の効果的な実施」については、日帰りハイキング、夏休み子ども1日教室など、特徴的な事業を実施しているほか、名物となっているコンサート、寄席など、参加率が100%を超える人気の事業が多数あることを評価しSとしました。

同じ評価項目の中の「(6) 設備及び備品の管理、清掃、警備」については、季節感のある館内装飾を実施していることに加え、徹底した清掃により、アンケートで高評価を得ていることを評価しSとしました。

そのほかの評価項目については、概ね事業計画どおりの実績・成果が認められるため、評価をAとしました。

最後に、総合評価については、概ね事業計画どおりの実績・成果が認められたものと判断しましてAとしました。

以上でございます。

○小川部会長 ありがとうございます。

ただいま所管課から一通り説明をいただき、畑コミュニティセンターの総合評価につき

まして評価案が示されましたが、まず初めに、この市当局の作成した評価の妥当性について委員の皆様から意見をお聞きしたいと思えます。ご質問も含めて何かございますでしょうか。はい、どうぞ鶴見委員。

○鶴見委員　やはり先ほども指摘したんですが、諸室の利用が減少しているということについては、ちょっと危機感を抱いたほうがいいのではないかという気がいたします。高齢化というのはわかるのですけれども、であれば、もうこのままずっと次の5年も下げ止まらなくていいのかという危機感がありますので、やはり利用者数の増減が少なくとも横ばいになるような施策を考慮してもらいたいということを考えております。

○小川部会長　ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

○田野地域づくり支援室長　実際に稼働率を上げる方策の一つとして、先ほども再三話になった自主事業を行うことによって、コミュニティセンターに来ていただいて、コミュニティセンターの中の部屋を使って、そして、サークルにつなげるなどして、稼働率に結びつけられればいいんですけども。そういったものの掘り起こしを今後も引き続きやっていかなければいけないものと感じています。確かに人口が減るとか高齢化とかで下がるのは自然的な現象であると思うんですけども、やはり何かしら企画をして、人工的にふやす方法を考える必要があると思えます。

○小川部会長　ありがとうございます。

自主事業の観念で言いますと、資料5-1の4番目の収支状況のところを見て、収入の欄のところ自主事業の計画と実施の推移があるんですが、計画に対して、実績が乖離している、それがちょっと目立つんですよ。あと、いろいろやってはいるんですけども当たりがないんですよ。違う地域だと当たって指数、級数的に伸びているところもあるんですけど、やっぱりもうちょっと地域の実情とかを考えてほしいなど。もしコミュニティを支えるという公益性を考えたようなことをやりたい、そしてそれで採算性はいいと。例えば子育てとか、無料開放とかあるじゃないですか。あとは高齢者の方に静養室を開くとかというような形で、プラマイゼロぐらいな事業ってあるじゃないですか。ああいうようなのをやって、何か皆様の心のよりどころになってきずなが生まれたというような話だったら、それはそれでいいんですけど、どうもちょっとその辺が見えづらいところがあるなど。

あと、資料5-2の総合評価の(1)1ページ目ですか、過年度の管理運營業務に対する評価の(4)番目の市内産業の振興、Aとついているんですが、これまでの市による評価のところ、仕組み上、そちらでAがついたらもうこちらで意見言ってもだめだというのはわかったんですけど、ここが原案として変えられるんだったら変えたいです。僕は、市内産業の振興についていうならば、毎年1,500万、30%以上が文京区本郷の会社に流出しているのと、本社費で600万円以上抜けているのを考えると、やっぱり市内産業の振興につながっているのかなというのには甚だ疑問に思えます。それはBでもいいような気がします。これ雇用の考え方じゃなくて、市内産業の振興でいいんですよ、委託ですからね。

○事務局職員　我々がAをつけた理由を説明しますと、2ページ目の最後に評価の基準とあるんですが、この項目は提案どおり、計画どおりでありますので、Aという評価にな

ったということなんです。

○小川部会長 その仕組みだとそうなんだけれども。このルールでやっていこうという話だったら。

○事務局職員 選定のときの提案が甘いというのはご指摘のとおりかなと思います。

○小川部会長 それは我々選定評価委員のほうも含めて反省すべきことだと思うんですが、ここで正しておきたいと思います。

ほかにいかがでしょうか。やっぱり委託期間、全ての期間通して収支実績は3ページにもあるとおりに赤字なんですね。だから赤字を計上して献身的な運営をしているんだというふうにアピールしたいのかもしれないんですけど、そういうことをそもそも求めてないんですよね。

○事務局職員 そうですね。

○小川部会長 しかも、もうちょっと会計的な話すると、受託事業損失引当金とか計上しちゃって、まあ引き当て処理もやっているから、そもそも会社の規模も大きいし、微々たる問題なんですよ。本社資金も取っているし、何か巧妙にやっているなというふうな印象しかないんですよ。

いろいろとカラフルな資料をお作りになっているのはうまいと思うんですけども、もうちょっと実のあることをやってほしいなと思います。

皆様どうでしょうか、総合評価につきまして。

○織戸委員 年度評価で検討した点、そっくりそのままこっちに移ってくるということではよろしいかと思いますが。

○小川部会長 そうですね。

○織戸委員 おっしゃるように、市内産業、これ論理的にそうなっちゃうでしょうね。変だけれども、現行ルール上Aになってしまったという。

○小川部会長 いやいや、そこをこの原案をひっくり返してですよ。ここは我々選定評価委員会の専決事項だから。これは案だから、ひっくり返していいんですよ。

○事務局職員 そうです。

○小川部会長 年度評価だと市による評価はひっくり返られないんですよ。だめだというふうに聞いています。

○事務局職員 一応ルールはそうになっています。

○小川部会長 ルールはそうになっているんですよ。

○事務局職員 年度評価は市の評価で、総合評価は部会の評価です。

○小川部会長 そうなんです。部会の評価なんですよ。そこはちょっとひっくり返させてもらって、Bで。そこは数字でこれだけ出ているんで、これだけ裏づけられているので。

○織戸委員 質問ですが、概ね事業計画どおりの実績、成果だとAということになっちゃうんですね。

○事務局職員 そうです。この評価シートのルールとしては。

○織戸委員 その基準はの場合にも当てはまるんですか。

○事務局職員 そうですね。

○織戸委員 本当はそうなんですか。

○事務局職員 はい。

○小川部会長　だから市の評価案を追認する場じゃないから、ここは。我々が、部会として招集されて、評価案についてその妥当性を審議するわけだから、妥当じゃないという意見があるわけです。しかもそれが数字でこことここで裏づけられていますよというのが言えるんですよ。

○新田委員　ちょっと聞きたいんですが、有料化してから、利用者のサークルとかクラブを増えたのか減っているのか、また、それがどういう原因で増えたのか減ったのかということをお聞かせください。

○事務局職員　有料化は23年度ですね。

○新田委員　ええ、大分前になりますけどね。それ以後、影響がどのように出ているのかということが。

○事務局職員　そうですね。平成23年度からそれまで無料だった諸室を有料化したんですけれども、特段有料化したことによって、もうコミュニティセンター使うのやめようとか、そういったお話は出ていないと思います。

○新田委員　そういうことによつての影響というのはそう大きくはないというふうに言えるわけですね。

○事務局職員　そうですね。やっぱり1部屋当たりの料金が200円、300円とか、低廉なので、もちろん無料のほうがうれしかったという意見もあるんですけど、だから使うのをやめようとか、そこまでは影響はなかったのかなというふうに考えております。

○田野地域づくり支援室長　そういう意味ではサークルの数はふえています。

○小川部会長　ちょっと事業、資料5-1について伺いたいのですが、22年と、利用状況のところなんですけど、よろしいですか。

ルールが変更になって22年、23年とで劇的な変化があるんですよ。それで、スポーツ施設については倍増していますよね。それもコマの割り方の問題なんですよ。

○事務局職員　スポーツ施設はそういった影響はありません。先ほど諸室のほうで22年度が29.7%から23年度が20.9%、ここが大きな落ち込みに見えるんですが、これは1日3コマだったものが1日6コマに増えたことで、単純に分母が倍になってしまうので、1団体か使ったときの影響が半分になってしまう、それで29.7%から20.9%に落ちたように見えてしまう。

○新田委員　そういう計算なんですか。

○小川部会長　ごめんなさい、スポーツ施設のところの利用者数のところを聞いたんですけど、5,879人から1万人にふえていますよね。それはどういうふうに理解すればいいんですか。

○事務局職員　ここは特にそういうコマ数の変動というものはありませんので、単純に増となっています。

○事務局職員　これは指定管理者が入った時点で、花見川区の花島ですとか、やはり体育館が混み合っているときに、お互いにあそこはあいていると、そういう情報共有を始めたということだと聞いております。それで、要は畑の体育館はあいているので、そこを使われたらいかがですかという形で人を振り分けた。体育館を利用する方というのは交通手段も持っているという方がほとんどなので、それで人数がふえているんじゃないかと。私はちょうど25年からこれに携わっていますので、聞いた話ですけど、かなり利用者

数もふえてきたという。

○芦ヶ谷花見川区長　　ロコミだけで増えたのであれば、それだけのマーケットがあるということになりますね。

○小川部会長　　そうですよね。そうしたらそういうマーケットがあるなら、諸室の方の稼働率も潜在的には上げられそうですよね、うまく取り込めれば。

○芦ヶ谷花見川区長　　バンドをやりたい連中がいるけど、やるところがなくて、それを畑でできるとなったら、そういうマーケットがあるかもしれませんね。さっきの赤字が少なくて済みますよね。

○小川部会長　　施設の人といろいろ話していると、バトミントンばかり。

○事務局職員　　一番人気が高いんですよ。

○小川部会長　　畑のほうで、バトントワリングやってみたいというような団体が申し込んできたものの、画一的に退けたような話を聞いたんですが、ああいう新たなものを受け入れる余地ってないのかなと。

○事務局職員　　来年度からですかね。団体利用という制度が始まるということになると、今までの種目しかできませんという時間帯から、各団体さんへの貸し出しというものができます、面貸ししていくということが始まるということになると、また状況は変わるかと思えます。

○小川部会長　　いろんな種目をやれるのだったら、また潜在的なニーズが拾い上げられるという気がするんですけどね。

だからちょっと話まとめるとすれば、年度評価で上がってきたことと、市内産業の振興に重点的に力を入れられる業者を次期以降の指定管理者には入れたいですけれども。あとは体育館の運営について、今日の視察の結果なんですけど、やっぱり画一的な運用ではなくて、新たな可能性があるんだったら、そういうところにも門戸を開いてほしいです。あとはマンネリを打破するために、いろいろやっているのはわかるんですけど、当ててほしいという感じがするんです。ここでうまくやっているところがあるんですよ。

○事務局職員　　かなり模索して、事業数をふやすときにもバリエーションも一緒に今、ふえてきていますので、そこでもう一度集約という形で、参加者が多いもの、色を分けていくと改善するかもしれません。

○小川部会長　　前に聞いた話なんですけど、指定管理者を入れてからトップダウンで物事が進むようになったと。コミュニティセンターの運営というのは、そもそもがボトムアップで、協議会みたいなのがあって、その意見を反映させていたと聞いていたんですよ。だからトップダウンになってからちょっと変わっちゃって、距離が生じたというふうに。そこでもし従来どおり利用者からの声をうまく取り上げていたら、そんなにいろいろ迷走することなく当たりが引けたような気がするんですけどね。実際に成功例があるわけですから。

○芦ヶ谷花見川区長　　あと利用の料金などは条例で決まっているところがありますよね。

○小川部会長　　トップダウンのところってありますよね。

○芦ヶ谷花見川区長　　賃貸しなどですと、フリーライドとかで、お試し期間のようにして客を増やすように、「損して得取れ」みたいなところがありますよね。料金でそういうフレキシブルなことがなかなかできないということはあるんですけどね。どこまでそれ

を柔軟にできるのかという、ほかの成功事例をよく聞いて、ここでも当てはまる共通点があるのかを考えてみたいと思います。

○小川部会長 僕の特論なんですけど、いろんな施設をお持ちじゃないですか、千葉市。本当に民間開放したほうがいいものと、行政がやったほうがいいものってあると思うんですよ。それがコミュニティセンターのような気がしてならないのですね、行政がやるべきところとして。防犯とか防災とかで、行政機関の横の連携なんかでいうと、区長名でお願いしたほうが早いじゃないですか。やっぱり指定管理者はそういうところには限界があるし、その区の中の町内会とか自治会とかに意見するのにしても、区長の名前のほうが早いんですよね、信用されているし。だからそういうところでちょっと限界があるような気がするんですよね。本当に民の活力だけで行けるのか。これまでの指定管理者の運営を見ていて、いいところと限界というのが何か見えてきた感があるんですよ。

○芦ヶ谷花見川区長 コストの縮減とかサービス向上ということで始まったんですけども、やっぱりどうしても官の役割の部分が、こういうコミュニティ施設なんだから、図書館もあれば、採算性がないものも入ってますからね。そこをじゃあ官と民がもっと話し合っただけでエンドユーザーの気持ちを拾うということに尽きるんですね。

○小川部会長 それが必要だと思うんですけどもね。

ちょっと意見を取りまとめていただいたんですが、ご紹介します。

委員の皆様からさまざまな意見をいただきました。いただいた意見を総合しますと、一部市の評価について、市のほうでAと評価した項目について、Bにしたほうがよろしかろうという項目がありましたが、市内産業の振興、これをBにしたいんですけど、これについてはよろしいでしょうか。

(異議なし)

○小川部会長 じゃあその市内産業の振興について、評価はBとして、あとそうなる、総合評価はAのままですらよろしいですか。何か意見がございますか。

(異議なし)

○小川部会長 わかりました。

総合評価はAのままということにいたしたいとします。

それを踏まえて、次期指定管理者の選定に向けての意見については、自主事業のテーマ性が見えない。地域性を鑑みた利用者ニーズを把握し、サークル化につながるような取り組みを期待したい。行政を含めたその他公営施設の広域連携に力を入れてほしい。稼働率が20.8%と非常に低く、改善を期待したい。収支状況の改善を期待したい。市内産業で市内の業者に再委託するなど、市内産業の振興に力を入れたい。体育館の運営について、画一的な運営ではなく、新たな種目を始めるなどの取り組みをしてほしいという意見を取りまとめるような形にしたいんですが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○小川部会長 これらを本部会の意見といたします。

それでは、これらの意見を踏まえて総合評価についての本部会としての意見を取りまとめる形になりますが、詳細は私と事務局のほうで調整するというご承認をいただいでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○小川部会長　　ありがとうございます。

では次、施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を次期指定管理者の選定の際に十分反映していただきたいと思います。

それでは、ちょっと長時間に及んだので、ここで5分ほど休憩したいと思いますので、一度事務局にお返しいたします。

○事務局職員　　それでは、5分程度でよろしいでしょうか。それでは、16時35分に始めます。よろしくお願いいたします。

また、区長につきましては、この後公務が入っておりますので、ここで退席いたします。

○芦ヶ谷花見川区長　　ありがとうございました。

(休憩)

○事務局職員　　では時間となりましたので、議事を再開したいと思います。

小川部会長よろしくお願いいたします。

○小川部会長　　それでは、議事を再開いたします。

千葉市花見川区幕張コミュニティセンターについて、評価に移りたいと思います。

先ほどと同様に、まず年度評価を行います。説明をお願いいたします。

○事務局職員　　はい、幕張コミュニティセンターについてご説明いたします。

本日、机上配付いたしました資料6-1、平成26年度指定管理者評価シートをごらんください。

まず、事前に配付した資料からの修正点は、先ほどの畑コミュニティセンターの資料と同様、1ページ目の自主事業の一覧と、5ページから7ページに記載しております履行状況の確認の項目になります。

申しわけございませんが、差し替え後の資料をごらんいただければと思います。

まず、1ページ目の「1 基本情報」ですが、指定管理者は三菱地所コミュニティ株式会社、指定期間は、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間でございます。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、まず「(1) 主な実施事業」の①指定管理事業につきましては、ごらんのとおりでございます。施設の貸出及び維持管理は適切に行われております。

②自主事業ですが、ナイトシアターを通年開催しているほか、職員やサークルの方が講師を務めるような教室も開催しております。また、幕張コミュニティセンターでは、稼働率が年々上昇していますが、比較的稼働率の低い料理実習室を活用した自主事業を実施しています。

次に、2ページをごらんください。

「(2) 利用状況」につきましては、平成26年度の利用者数は11万4,092人で、前年度比で106.1%となっております。稼働率につきましては、43.3%で、前年度を1.1%上回っています。利用者数、稼働率ともに、目標値を大きく上回っております。

次に、「(3) 収支状況」につきましては、利用料金収入が計画額に対して122.5%と大きく上回っており、これにより、約145万円の利益還元がなされる予定です。

この結果、③収支実績は、プラス168万5,000円となっております。

次に、「(4) 指定管理者が行った処分の件数」、これは施設の貸出における許可ですが、ごらんのとおりです。「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」はございませんでした。

次に、3ページをごらんください。

「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてでございます。

まず、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」についてでございます。

アンケート調査は、年2回行われており、括弧内の数字が1回目の調査となっております。各項目において、「不満足」「非常に不満足」といった回答が少なく、おおむねよい評価をいただいております。

独自質問では、飾りつけの季節感についてのアンケートを行い、こちらもおおむねよい評価をいただいております。

次に、③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応ですが、利用者数の増加により、駐車場が混雑することが多く、駐車場が少ないといったご意見をいただいておりますが、公共交通機関の利用や乗り合いをお願いするなど、ご理解、ご協力をいただけるように対応しております。

次に「(2) 市に寄せられた意見、苦情」ですが、ごらんのとおり2件寄せられました。

ヘルストロンの利用方法については、利用開始時間を11時から9時半に早める一方、20分の制限時間については、健康を考慮して変更せず、注意文を掲載してご理解を求めするなど適切に対応しております。

次に、4ページをごらんください。

「4 指定管理者による自己評価」につきましては、ごらんのとおりです。

項目のみご紹介しますと、「1 地域に根差したコミュニティセンターを目指し、近隣の公共施設と交流を図った」、「2 諸室の稼働率向上」、「3 利用者が気持ちよく利用できるよう館内装飾を実施した」、「4 利用しやすい図書室を目指し、利用率向上に努めた」、「5 備品購入による利用者サービスの向上」です。

これらの点について自己評価しています。

次に、5ページをごらんください。

「5 市による評価」ですが、評価は、Sといたしました。理由としましては、所見の(2)に記載したとおり、稼働率、利用料金収入ともに計画を大きく上回り、利益の還元が発生すること。また、(4)に記載したとおり、図書室の利便性向上を図り、利用者数、貸出数ともに増加し、施設の魅力向上に寄与していることなどです。

また、履行状況の確認につきましては、ごらんのとおりでございます。

評価を3とした項目は、7項目でございます。主なものについてご説明いたします。

6ページ目、上から7番目めの「花ひらく、ふれあい空間」の創出については、玄関、ロビーに花を飾るほか、活動サークルの作品を展示するなど、景観の向上に寄与している点を評価しています。また、6ページ、真ん中少し上のサークル活動支援については、大型ミラーの導入により、ダンス等のサークルの増加につながっていることを評価しています。そのほかの項目については、おおむね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていたため、2点としております。

幕張コミュニティセンターの説明につきましては、以上でございます。

○小川部会長 ありがとうございます。

それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関して、意見交換を行いたいと思います。

先ほどと同様に、これからの会議は、非公開といたします。

現在、傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま続けます。

それでは、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等をもとに織戸委員からのご意見をいただきたいと思います。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○小川部会長 収益性の観点から見ても、安全性の観点から見ても、倒産、撤退等のリスクはないと思います。

今公認会計士である織戸委員から専門家としての所見を賜りました。

簡単に集約すると、財務面について、収益性の観点、そして安全性の観点から見ても、また利害関係の観点から見ても、倒産、撤退等のリスクについては、直ちにはないだろうということをおっしゃられたと存じます。

これを本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○小川部会長 ありがとうございます。

それでは、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換については、公開といたします。

傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま続けます。

それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

何か意見はございますか。

どうぞ。

○鶴見委員 利用者数や稼働率も見てまいりますと、十分目標を達成しているということも考えられますので、比較的順調なのではないかというふうに思いますので、今後もこのペースを守ればいいのかなというふうには思っています。

○小川部会長 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

ちょっと事務局に伺いたいんですが、資料6-2の36ページ、再委託業務で再委託先というのが一覧あるんですが、この三菱地所コミュニティ株式会社様と指定管理者との株式会社アネシスさんと何か関係ありますか。

○田野地域づくり支援室長 特に関係は、聞いておりません。

○小川部会長 純粋にその株式会社アネシスさんも独立した、利害関係のない会社だという理解でいいということですか。

○事務局職員 はい。

○小川部会長 ビル管理とか、清掃とかを主たる、でも千葉営業所ってありますよね。

○事務局職員 そうですね。

○小川部会長 一応確認したいんですけど、きょうの施設見学の際に説明があったんですが、こちらの指定管理者は、地域と連携しながらコミュニティの運営をやっていきたいというふうに言っているんですよ。それは額面どおり受け取っていいんですかね。いや、大抵、私が評価委員になってからずっと分析しているんですけど、指定管理者は何パターンか行動パターンあるんですね。ここでちょっと詳しくは言えませんが、大抵企業ですから何らかの経済合理性があると思うんですけど、その辺がちょっと何かあるのか、何かそういうのはあるのかなというふうに。

一つは、専業として指定管理業務も、主たるなりわいでやっているところ、後は、自分の業務、本業を拡張していくために指定管理業務をやっているところ、あともう一つは、恐らく社会貢献なんですよ。

だから、もしかして、アネシスさんが、有力な利害関係のある会社だったら、それはそれでわかるし、何か収益構造というのが、ビジネスモデルとしてちょっと読みづらいんですよ。利益の還元も割と高額ということじゃないですか。思うには、推測なんですけども、あの辺って三菱地所関係のマンションが多いですよ。何か手がけているというふうにあるんですよ。何かこちらの提案書に。まちのブランド価値を上げたいというような理解でいいですかね。

一応提案書の様式、提案書の様式第3号のめくったところに、千葉市花見川区幕張コミュニティセンターと同種の施設を管理受託したことがある場合は、その内容を書いてください。藤和ライブタウン新検見川とか、藤和シティホームズとか、そういうのを手がけていますよというふうにありますね。でもそれにしちゃ数少ないし、まずそこにあるとおりに、コミュニティを通じた地域の発展を指定管理者の主たる事業とあい通ずるものがあるからやっているというような理解でいいんですかね。これで受け取るしかないと思うんですけど。

○田野地域づくり支援室長 そうですね。これはそういうふうに受け取るしかないと思います。

○小川部会長 なるほど。じゃあそれを前提に。前の選定委員会で選ばれて、これで5年目という理解でいいですか。

○事務局職員 そうです。5年目になります。

○小川部会長 その前は違う業者さん。

○事務局職員 その前は、株式会社千葉マリスタジアムです。

○小川部会長 千葉マリスタジアム。そもそもあの付近、人口がふえていて、あと文教地区ですよ。

○事務局職員 そうです。

○小川部会長 何か割と有利な状況にあったわけですよ。

○事務局職員 そうですね。

○田野地域づくり支援室長 人の交流とか、活動において、畑コミュニティセンターと比べると、違いがあります。

○小川部会長 割とここ、アンケートの回答者の特性を見てみると、若い人が多いですよ。無職の方も勤労者もいらっしゃるんですけど、20歳から39歳で、15.9%（12.8%）、40歳から59歳までは23.3%（24.72%）、そこから上が51.

3%、まあ過半数は上の方ですけど、若い人が比較的入っているんですね。

○事務局職員 はい。

○宮葉委員 利用率が高いのは不思議だと思って、ちょっと聞いたことあるんですよ。この中にも出てきますけど、近くに神田外語っていう大学があります。それが一時期100人で利用することもあるんだそうですよね。そういうこともあるらしいんです。近辺の大学を初め、高等学校、中学校、立派な私立学校がいっぱいありますから。

○小川部会長 数字がふえたのは、純粹に喜ばしいことなんですけど、いろんな要因があるから、さっきも話が出ているように、単純には比較しちゃいけないんだろうけど、それでも評価には値すると思います。一応稼働率も上がっているし。ただ、気になるのが、単なる貸部屋としての利用だとすると、あんまりうれしくない。本来、運営の基準にあるとおり、多世代間交流、縦が欲しい。

それでコミュニティを醸成するのがどの程度できているのかなといった、ただ単に、神田外語、一定の大学のところで活動する場所がないから貸部屋として使って、それで終わりというんじゃないくて、例えば、ミュージカルとかやるんだったらば、それを見に来てくださるコミュニティにいらっしゃるほかの住民の方がそれに感銘を受けて、それを楽しみにされて、縦の交流が深まるというような効果があるんだったら、なおい。

○宮葉委員 立派な講堂もありますからね。

○小川部会長 コミュニティの各世代が分断して使うんじゃないくて、どこかでつながってほしいんですよ。コミュニティセンターのお祭りってどうなっています。コミュニティまつり。

○田野地域づくり支援室長 諸室や体育館を利用してサークルの発表会をしたり、模擬店をやったりしております。

○小川部会長 今申し上げているような縦の交流を形成できるような。

○田野地域づくり支援室長 小学校に上がる前の子どもたちのダンスとか、お年寄りのサークルの活動とかをコミュニティまつりで発表しています。

○小川部会長 あとは置き引きが何件もあったという話について、やっぱりそれは利用者の啓蒙強化を市が促すとともに、それが構造的な問題だったなら市のほうに対応してほしい。

あと小中との連携なんですけど、こんなものなのかな。何かその先に、単に学校行事につき合ったという感が強いんだけど、コミュニティとしての一体感というか、きずなを醸成するような効果はあったのかな、そういう方向を狙っているのか、そこがちょっと疑問に思う。いや、イベントを受け入れることは確かにいいんだけど、それは単にアリバイを稼ぐためじゃない。その先につながるようなことがあればいいなと思うんですけど。

あとこちらの自主事業について質問なんですけど、自主事業、評価シートの1ページ目の自主事業なんですけど、通年開催しているナイトシアターというのは、年齢層はどのぐらいなんですかね。

○田野地域づくり支援室長 借りてくる映画が、著作権の関係からかなり古いものが多いので、どうしても対象は高齢の方となっています。

○小川部会長 ちょっと聞き漏らしたんですけど、時間って夜8時までですよ。

○事務局職員 9時までです。

○小川部会長　　ここのコミュニティセンターが9時までやるのは、特別な仕様じゃないですよ。

○事務局職員　　すべて9時から21時までです。

○小川部会長　　思うんだけど、この子ども向けの親子で楽しむイベントがあるんですけど、その後、子どもがこのコミュニティセンターを利用するということを想定しているのでしょうか。一番効果的なのは、例えば、夏休みとか、長期休業中に、稼働率の悪い部屋を開放して勉強部屋にするとか。だから、そういうふうなやり方もあるんだけど、そういうふうなストーリー性というか、運営の仕方を考えているのかな。単にいろいろここもちょっと模索している感はあるかなと。

でもやっぱり防災体験会ぐらいですかね、公共性のあることって。最近の話でいうと、自転車の乗り方ですよ、子どもの数も多いし。でもお年寄り、大体悲しい目に遭うのは、いきなりよけられない高齢者の方じゃないですか。何かそういったその人口がふえているところだから、そういう公益性のあるような取り組みもあっていいような気がするんですよ。

いや、単に貸部屋だったら、こんなこと言いませんけど、僕はどちらかというと、このコミュニティセンターの趣旨にのっとって、そういう公益性のある事業をやってほしいなと思うんですけど。

○事務局職員　　立地からいって、免許センターも近いですから、そちらにというような。

○小川部会長　　いや、自転車です。

○事務局職員　　高齢者の方で自転車の方というのは、余り。

○小川部会長　　いやいや、逆に被害者になるから。被害に遭わないように、そういう啓蒙強化的な。割とあの辺空き巣多いでしょう。違いますか。

○事務局職員　　花見川ですと、北部方面も戸建てのほうがやっぱり多いと聞いています。

○小川部会長　　いや、そういう話を聞いたことがあったんで。

○田野地域づくり支援室長　　確かに畑コミュニティセンターに比べると、そういった公共性のあるもの、たとえば警察の関係とか、これからの課題となるように思います。

○小川部会長　　そうですね。自主事業について言うならば、計画書と変わらないですよ、何か年度途中で何か新しい需要を掘り当てるとか、そういう積極性が欲しいなと思います。

やっぱりそれでも稼働率が改善したとはいえ、課題が多いじゃないですか。とりあえず当初設定した計画を粛々とやるんじゃないかと、年度途中で何か可能性があるんだったら、ちょっと挑んで欲しいなと思うんですよ。

畑のほうは、当初の計画に対して倍ぐらいやってもらっているんですけど、こちら側は23件に対して24件だから。

○事務局職員　　おおむね計画どおり。

○小川部会長　　ええ。そういう安全運転を期待しているわけじゃなくて、しかも、赤字前提で組んでいるんですね。やっぱりあんまり赤字で組んでほしくないですね。自主事業の赤字は特にやめてほしいですね。次の指定管理者になるときも、赤字負担をしなきゃいけないのかというようなイメージをつくりたくないですけどね。

意見は大体出てきたと思うんですが、額面どおり、利用率と利用者数と稼働率の伸びは、

評価に値すると。

僕の意見なんですけど、自主事業については、テーマ性とかいろいろちょっと創意工夫が欲しいと。

あともう一つが、自主事業を赤字にしないように努めていただきたいと。

○事務局職員 自主事業の4番の草履教室でしょうか、これは赤字にはなっていますけど、職員の方が指導して、評判がよかったみたいです。これは回数がかなり年度ごとにふえてきていると聞いています。アクリルたわし教室と、この二つについては、実績としてこの程度でどうなんだというのがあるんですけども、1回当たりに指導できる人数も限られているので、その辺は少ない経費でということは、一応念頭に入れて、これは当たったわけです。

○小川部会長 それがサークル化にあってほしいんですね。

○事務局職員 そうですね。だから、その先生を育てている最中みたいなことは、聞いてはいるんですけども。

○小川部会長 三菱地所さんですからね、別に赤字はこれぐらい大した金額じゃないかもしれないかもしれませんが、でも次の指定管理者を選定する際に、赤字が前提なんだというのは、そういう献身的な貢献が、負担が要求されるというような誤った印象は出すべきじゃないと思うけどね。

○事務局職員 ほかの区のコミュニティセンターの自主事業で、プラスになっているところってあるんですかね。

○小川部会長 出ているところはあります。300万の収入で利益30万円、10%って言ってましたよ。決して悪いことじゃないんで、それは。

やっぱり、人気を博するやつが出てきて、なかなかそれがサークル化までは至らないんですよね。高齢化しているからちょっとややこしいやつだと、世話人が出てこないでしょうね。

○事務局職員 逆にお金を払ってもというようなそんな意識の高い方の違いなんですかね。そういう地域の住民。

○小川部会長 いや、たまたま狙いがよかったんだろうなと思いますけどね。

では、委員の皆様から、さまざまな意見を頂戴いたしました。施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等の主な意見といたしましては、利用者数や稼働率について目標を達成しており、今後も継続させたい。単なる諸室利用の増加ではなく、多世代間での交流の増加も目指してほしい。公共性のある自主事業を実施するなど取り組みを実施してほしい。自主事業については、計画どおりではなく、年度途中でも積極的に比較してほしい。自主事業の赤字を改善してほしい、以上5点などがございました。

これらを本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○小川部会長 ありがとうございます。

それでは、先ほどの財務状況も含めて、千葉市花見川区幕張コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになります。詳細については私と事務局にて調整するということでご承認

いただければと思います。

よろしいでしょうか。

(異議なし)

○小川部会長 ありがとうございます。

では、次に、総合評価についてご審議いただきます。

所管課からの説明をお願いいたします。

○事務局職員 それでは、幕張コミュニティセンターの総合評価についてご説明いたします。

資料7-1、指定管理者総合評価資料をごらんください。

「1 基本情報」と「2 管理運営状況」の「(1) 業務の概要」については、ごらんのとおりとなっております。

次に、「(2) 利用状況」ですが、指定期間当初からの推移について、表にまとめております。

まず、①利用者数については、平成24年度に若干の減少が見られるものの、おおむね順調に増加しております。スポーツ施設、これは体育館ですが、これも徐々に増加しております。なお、体育館において、平成26年度に若干減少が見られますが、床の工事のため、12月に半月ほど休館したことによるものと思われる。

また、②稼働率については、年々増加しております。特に、平成24年度、25年度において大きく増加しておりますが、これは大型ミラーの導入によるダンスサークルの増加や、近隣大学の登録サークルの増加などによる効果があらわれたものと考えています。

なお、ほかのコミュニティセンターと同様に、23年度から諸室の利用時間が1コマ4時間から1コマ2時間に変更されたことから、平成23年度に稼働率の減少が見られますが、それでも、平成22年度の稼働率を上回っております。

これらから、利用者数、稼働率ともに、全ての年度において、計画を大きく上回っております。

次のページ、「3 利用者意見への対応状況」ですが、洋式トイレをふやしてほしいとのご意見に対し、平成26年度に3階トイレの洋式化を実施しております。そのほかのご意見に対しても適切に対応しております。

3ページをごらんください。

まず、「4 収支状況」の「(1) 過年度の収入・支出状況」ですが、最後の行の「収支」のとおり、全ての年度において黒字を維持しております。特に、収入という項目の中の利用料金については、毎年度、計画を上回る実績となったため、利益の還元が発生しています。

次に、「(2) 管理経費の縮減に係る取組み」についてですが、LED電球への変更、不要箇所の消灯、扇風機の利用等による電気使用量の節減、館内の飾りつけを職員や利用者の手づくりで行うことによる経費の節減、簡易な修繕等を指定管理者みずから行うことによる外注費の削減などを行い、支出の削減に努めておりました。

次に、資料7-2、指定管理者総合評価シートをごらんください。

「1 基本情報」については、ごらんのとおりとなっております。

次に、「2 総合評価」の「(1) 過年度の管理運営業務に対する評価」ですが、評価

をSとした項目が五つあります。主なものについてご説明いたします。

2 ページ目をごらんください。

評価項目、「2 サービスの向上」の「(1) 利用者サービスの向上」については、景観の向上や、幼児室、図書室の利便性向上等により、利用者数が増加するなど、施設の魅力向上に大きな成果があったことを認められるため、Sとしました。続いて、同じ項目の「(2) 利用者支援」については、ドラムセットや大型ミラーの購入などにより、登録サークルが増加し、利用者数、稼働率が大きく増加したことに加え、利用料金収入の増加により、4年間で約520万円の還元が発生していることを評価し、Sとしています。

次に、評価項目「3 施設の効用の発揮、施設管理能力」の「(1) 利用促進」については、提案にある諸室の予約ボードの設置に加えて、新たに体育館の予約ボードを設置したことや、近隣住宅へのチラシのポスティングによる積極的な広報など、計画を上回る実績があったと認められるため、評価をSとしております。

評価をAとした項目については、おおむね事業計画どおりの実績・成果が認められるため、Aとしました。

最後に、総合評価については、管理運営業務において事業計画を超える実績・成果が認められるほか、利用者数、稼働率が大幅に向上していること、利益の還元が毎年発生していることから、事業計画を超える実績・成果が認められたものと判断し、Sとしました。

以上でございます。

○小川部会長 ただいま所管課から一通りの説明をいただき、幕張コミュニティセンターの総合評価について、評価案が示されましたが、まず初めに、この市当局の作成した評価の妥当性について、委員の皆様からご意見をお聞きしたいと思います。

ご質問も含めて、何かございましたらお願いいたします。

スポーツ施設が、平成26年度、平成25年度から比べて2,000人近く平成26年と減っているんですけど、これはどういう理由なんですかね。

○事務局職員 12月に体育館の工事がございまして、床の工事で半月ほど休館になっているんですね。恐らくその影響かなというふうに。

○小川部会長 そういう何というんですかね、コミュニティセンター固有の閉館状況、情報というのは、こういう評価指標には盛り込まないんですか。

○事務局職員 いえ、盛り込むべきだと思います。

○小川部会長 多分これだけ見ていると、数字減ったのに評価が高いというのは誤解を与えそうなので。

○事務局職員 そうですね。

○小川部会長 ここは何かただし書きか何かしといたほうがいいんじゃないですかね。

○事務局職員 これ実際には、体育館のみの工事ではなく、建物全体の外壁をやっていますので、駐車場の台数もかなり現場に、資材置き場等で取られていたというのもあるかと思います。本来明記しなければいけないかとは思いますが、花見川区の場合、今まで畑についても、やはり工事をやったときに記載はなかったんですね。なので、本年度も記載はせずという形としました。実際に予算がついて、時期的なものをちょっと探ってみて、できるだけ工事をやるに当たっても利用者に影響のないようにということで、床の改修の全面塗装を行ったんですけども、どうしても12月の終わり、年末年始の休みを

絡めて、できるだけ少なくはしようということで工事を進めたんですけど、若干の影響はあったのかなど。

ただ、それだけのことで2,000人という差が出たのかと言われると、ちょっとそこも厳しいところがあります。

○小川部会長 子どもにとっては、冬休みは書き入れどきです。

だけど、それは今後市民総務課がどうとるかわからないですけど、やっぱりそういう事項は入れたほうがいいと思うんですよね。業者の問題じゃないじゃないですか。設備の維持改修で一部閉館にせざるを得なくて、利用できなかったという事実があるんだったら。でないと、これが公表されちゃうわけですよ。

○織戸委員 非常に形式的な内容の質問なんですけども、7-2の総合評価、(1)の「市民の平等な利用の確保」、このグループがAなんですよね。次のページへ行って、「2 サービスの向上」、これはSなんですよね。3グループ、これがAですよ。「4 管理経費の仕組み」がAですよ。4項目のうち、3つがAで、Sがサービスの向上だけなんですよね。しかもサービスの向上を見ると、(1)に景観の向上とありますけど、これは市が外壁を塗りかえたよという話ですかね。

○事務局職員 そうですね。それに加えて花を置くなどしています。

○織戸委員 花を置いたんですね。花を置いて、幼児室と図書館等を使いやすくしましたよ。(2)でいうと、ドラムセット、大型ミラーを買いましたよ、この点だけ引っ張られて、評価がSになっちゃっていいんでしょうかねという疑問なんですけど、いかがお考えでしょう。

○事務局職員 おっしゃるとおり、単純に項目数を比較すると、Sの割合が少ないため、それで総合評価がSになるのかというご指摘はあるのかとは思いますが、例えば、1ページ目の1の「(1) 関係法令等の遵守」といった項目は、なかなか計画を上回る実績を上げるというのが難しいんですね、そういった項目が多いので、単純に項目数だけで評価してしまうと、どこも総合評価がAになってしまうということがございますので、市としては、明記されていなくてわかりづらいんですけども、重きを置いている項目がありまして、総合的にSだというふうに市としては判断しております。

○織戸委員 なるほど。私もきょう見せていただいた感じでは、印象としてとてもいいなという印象を受けたわけですので、特に反論はいたしませんけど、そういうことなんです。わかりました。

○事務局職員 評価の仕方がわかりづらいというご指摘はごもっともだと思います。そこは市として反省すべき点だとは思いますが。

○小川部会長 そうなると、市の立場でもし乗っかっていいんだらば、ここが多分合意を見れると思うんですけど、やっぱり4年間で約520万円の利益の還元を行っているとする、図書室の整備とか、備品の器具とかじゃなくて、純粋に上げた収入の中から520万なんです。

しかも、これ提案書を見てみると、提案書の中から見ると、利用料金収入からやっているんですよ。確定した、収支純額でやっているわけじゃないんです。

そこで最終的な収支の純額が赤字になることは考えにくいけど、少なくとも今までいろいろ見てきた中で、利益の還元に関しては積極的なルールを設定していると思うんですが。

収支差額の純額で、そこから租税公課を引いて、100万円あったらそこから還元しますよというところが何件かあったんですよ。だけど、なかなか難しいんですよ。税金引いた後に100万円以上残すって、このビジネスで。それよりも、そういうものを考慮する前に収入の中から、一定額超えたものについては利益還元する、そこはちょっと勇気があるなというふうに思いました。

ほかにいかがでしょうか。

ただ、これだけだとね、お金の話だけでね、利益還元が高ければSになってしまうというようなイメージを与えかねないからね。何かその辺もちょっとね。

○鶴見委員 利用者人数の増加というところは、これは決定的にSかなという気がしますがすけどもね。

○新田委員 目標をクリアしたということが、一番ポイントなるということですかね。

○小川部会長 3点ですかね。利用者数の増加と、稼働率の向上と、後は、大幅な利益還元があるというところですかね。登録サークルもふえているんですよ。

○事務局職員 そうですね。新規登録が多くて、毎年新しい団体に登録していただいています。

○小川部会長 それも取りたいですね。利用者数、稼働率の向上、特に新規登録者数の増加が目立つと、そして、大幅な利益還元という実績ですか。その辺あたりでまとめるんじゃないかなと思います。

○織戸委員 登録サークルというのがふえたのは、たまたまじゃなくてですか。サポートしたためでしょうか。

○田野地域づくり支援室長 それも努力してまして。大型ミラー、娯楽というんですか、そういったものを何枚か購入することによって、ダンスとか、演劇のサークルにすごく好評だったことで、それが引き金でサークルがふえております。

○小川部会長 設備投資だけじゃなくて、後はあれですよ。ポストとかにビラを配る。

○田野地域づくり支援室長 近隣の住宅にポスティングして周知させるとか。地道なこともしています。

○事務局職員 昨年度、年度評価で初めて評価Sをつけさせていただいたんですね。そのときに、やっぱり一番重視したのは、稼働率が40%も超えてきたということもあったんですけども、新規サークルが64、年間でふえたということは、これは学生の利用もかなりふえましたという報告はいただいているんですけども、やはり安価で使える場所という、大学生のサークル、そのまま乗ってきたというところがあるんですね。通常、若い世代は余りコミュニティセンターになじみがなかったところに、すぽっとお客さんがはまってきたので、また稼働率が上がってきているという流れになっております。

○小川部会長 評価シートで設定された項目が90ぐらいしかなくて、その中の7個しか3点はない。

○事務局職員 それでもここをSにということで、かなり内部的にももめたところなんですけども、やはりいいものについては、Sをつけてあげないと、これだけ頑張っている業者としても、ご褒美じゃないですが、そこがないとやっぱりまずいんじゃないだろうかというようなことを入れてですね。

○小川部会長 中にはね、200項目設定している区もあるんです。区によると思うん

ですよ。その違いがね。

委員の皆様から、さまざまなご意見を頂戴しました。頂戴した意見を総合すると、S評価が妥当であるという意見が大勢を示したと、それによろしいでしょうか。

(異議なし)

○小川部会長 次に、施設のサービス水準の向上、あるいは業務の効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けての意見を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。

恐らく、年度評価のところで出てきたような話だと思うんですけど、今後とも利用者数や稼働率について水準を高めていただきたいという期待ですね。

年度評価では、目標を達成していることに称賛を送ったんですけど、これ、続けてほしいという意見になるかと思います。

あと次期指定管理者の選定についてなんですが、やっぱり量的な評価の向上よりも、質的な部分を求めていきたいと思うんですよ。多世代間の交流の増加を目指したりとか、公共性のある自主事業を取り入れていただいたりとか、後は、そういったことですかね。自主事業について、もうちょっと、運営の仕方を健全にしてほしいなど。ただ、赤字にはしないとか、それはもうテクニカルな話だと。そもそも自主事業、多世代間の交流の実現を意図するわけですので、その評価、管理運営の基準に照らし合わせて、だから、年度評価の点、基本的な趣旨は踏襲できるんだと思うんですけど、いかがでしょうか。

ほかに何かつけ加えるようなご意見等ございましたら。

○織戸委員 特にありませんので、あれでいいと思います。

(なし)

○小川部会長 ありがとうございます。

次期指定管理者の選定に向けての意見を取りまとめるんですが、おおむね利用者数や稼働率の向上に向けて、今後も力を入れていただきたいというのと、諸室利用の増加ではなくて、多世代間の交流の増加を目指すなど、質的な側面ですね。後は、公共性のある自主事業を実施するなど、取り組みを求めたいと思います。

3点に集約できるかと思うんですが、今の3点でいいですか。

(異議なし)

○小川部会長 ありがとうございます。

これらは本部会の意見とすることによろしいですか。

(異議なし)

○小川部会長 ありがとうございます。

それでは、これらを踏まえて、千葉市花見川区幕張コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る総合評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細については、私と事務局にて調整するというご承認いただければと思います。

(異議なし)

○小川部会長 ありがとうございます。

施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を次期指定管理者の選定の際に十分反映していただきたいと思います。

以上で、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価についての審議は

終了します。

次に、議題3の「今後の予定について」、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局職員　それでは、本日委員の皆様よりいただきましたご意見等につきましては、小川部会長から選定評価委員会の横山会長にご報告をいただき、その後、横山会長から市長宛てに委員会の意見として答申をしていただくという流れとなっております。

この委員会の答申を受けまして、施設所管課が委員会のご意見を指定管理者評価シートに記載し、9月上旬までに、市ホームページに掲載し公表するとともに、指定管理者へ通知いたします。

同様に、部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても、同市ホームページにて公表することとなります。公表の時期等は決まり次第、委員の皆様にはご報告させていただきます。

なお、今回の部会の会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

また、次回の部会の開催日程等の詳細につきましては、委員の皆様へ、事務局より改めてご連絡させていただきます。

以上でございます。

○小川部会長　ただいま事務局からの説明について、何かご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

(なし)

○小川部会長　特にないようですので、それでは、最後に議題4「その他」についてですが、委員の皆様から質問はございますか。よろしいでしょうか。

(なし)

○小川部会長　では、皆様のご協力によりまして、本日の議事は、全て終了いたしました。

ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しいたします。

○事務局職員　大変長時間にわたり、慎重なご審議どうもありがとうございました。

以上をもちまして、平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回花見川区役所部会を閉会いたします。委員の皆様、本日はお忙しい中、ありがとうございました。